

氏名： 羽入 佐和子 (HANYU Sawako)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 副学長
学位： 学術博士 / Dr. in Philosophy
専門分野： 哲学、倫理学、比較思想
E-mail： hanyu.sawako@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

ヤスパース哲学 / 実存の哲学 / 哲学と科学 / コミュニケーション / クリティカル・シンキング
Jaspers' philosophy / philosophy of Existenz / philosophy and science / communication / critical thinking

◆主要業績

総数 (2) 件

- The Role of Reason in Scientific and Technological Age from the Perspective of Jaspers' Philosophy, in "Karl Jaspers; Historic Actuality" pp.161-170. Koenighausen & Neumann 2008 Wuerzburg.
- The Cross-Cultural Thought in Jaspers' s Philosophy - In Comparison with Kantian Thought in "Toward Perpetual Peace" , in 6th International Jaspers Conference in conjunction with the XXII. World Congress of Philosophy, 2008 July in Soul.

◆研究内容 / Research Pursuits

2008年度の研究は、死生観、コミュニケーション論、いのちの尊厳教育、を主たるテーマとした。
日本学術会議連携会員として哲学委員会主催の公開シンポジウム「現代社会と死生観」(2008年11月29日 於: 日本学術会議)を企画・実施し、医学、教育学、思想史の点から論じられた死生観に対して、実存哲学の視点からのコメントをつとめた。
第22回世界哲学会議において開催した第6回国際ヤスパース会議(2008年7月30日-8月5日 於: ソウル)を企画・運営するとともに、カント哲学とヤスパース哲学の比較を通して、コミュニケーション論の在り方をテーマに発表した。
医学、哲学、教育学、宗教学の研究者との科学研究費補助金による共同研究「「いのちの尊厳」教育における生命科学の位置価値に関する教育課程の国際比較研究」を継続実施し、「モラル・サイエンスと死生観に関する教授理論の分析」を分担している。

◆教育内容 / Educational Pursuits

クリティカル・シンキング、コミュニケーション、価値論を主たるテーマとした。学部では、テキストを正確に読み批判すること、問題を論理的に吟味する方法を授業内容とした。使用したテキストは、カント『永遠平和のために』、ヤスパース『哲学』、ハーバーマスに関する文献。

教育効果を高めるために、授業で扱ったコミュニケーション論に関連して、ゲストスピーカーによる講演、学生と講師のディスカッションの機会を設けた。

大学院教育では、相対主義に関する文献を用いて、哲学的問題設定の方法を論じ、さらに道徳的価値についての議論を通してその類型を示した。

また、フランス啓蒙思想、カント哲学、ハイデガー哲学をテーマとする学生の論文指導を行った。

◆研究計画

「個としての人間」を主たるテーマとし、「人間性」「コミュニケーション」「価値」に関する研究を行う。その際にとくに次の二点を重視する。第一に、方法と対象の相関性、第二に文化的差異の問題である。

第一の点については、科学と哲学のそれぞれの方法論の特異性を分析すること、第二の点は、歴史や文化を背景とする人間の存在論的な解明のために、文化的差異を超えた存在概念を分析することである。

◆メッセージ

哲学は身近で具体的な事象の中から問題を発見し、その解決方法を多様に思考する点に特徴があります。そこで、本学の哲学コースは、その基礎となるクリティカル・シンキングの手法を学び、古典的な思想にも通じることを特徴としています。

専門分野や関心の如何を問わず、哲学は思考の柔軟性を高め可能性を広げ、思考の基盤であると考えています。